



凜として

りん

R3.6.15

第5号

148回目の開校記念日を迎えます



6月26日、岩沼小学校は148回目の開校記念日を迎えます。

令和2年度末で卒業生は29,322名。明治6年に開校し、令和5年度には、創立150年を迎えます。明治・大正・昭和・平成そして令和と長い伝統を築き上げています。

明治6年

岩沼では、6つの小学校が開校しました。宮城県を三分割した中学校毎に、一番からはじまる学校番号が付けられ、岩沼小学校は「五十二番」と付けられました。「五十番」小川小学校、「五十一番」南長谷小学校、「五十三番」本郷小学校、「五十四番」下野郷小学校、「五十五番」早股小学校と付けられました。



当時は「読書・習字・算術」が教えられていました。開校当時、岩沼小学校には校舎がなく、仮校舎として3つの民家を借り、児童数70名で始まったそうです。

明治37年

に校訓「正直・親切・勤勉」が制定され、明治39年にプラタナスの植樹、明治42年に校歌が制定されました。この当時の児童数は、1,026名だったそうです。校訓、校木、そして校歌は明治のころから長きにわたって引き継がれています。



中校舎（明治19年～昭和25年）

昭和16年

岩沼国民学校と改称され、当時の児童数は1,397名とあります。終戦の22年に岩沼町立岩沼小学校となり、この年学校給食も始まりました。

昭和46年

には、鉄筋三階建ての北校舎が落成、市制施行に伴い校名も岩沼市立岩沼小学校となりました。それから50年経ちました。昭和52年には、岩沼西



明治33年に建設された表門

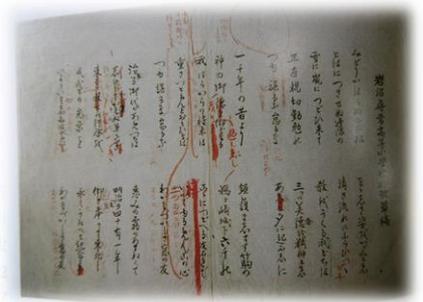
小学校が開校しましたが、それでも岩沼小の児童数は2,134名、54年には岩沼南小学校が開校し、児童数が1,308名とあります。

現在、150周年に向けて、卒業生による実行委員会の皆様が令和5年の記念事業に向けて準備をいただいています。

歴史を辿ることは、これまでの歩みを振り返るとともに、今や未来について考えるヒントになります。

これまで引き継がれてきた伝統を大切にしながら、新たな岩沼小の歴史を刻んでいく子供たちの成長を心より願います。

校長 宮本 利浩

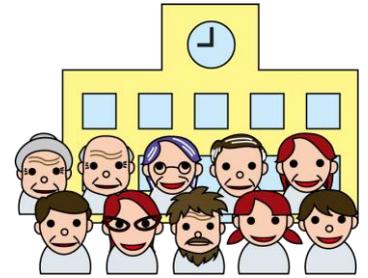


校歌草稿

本年度第1回学校評議員会を開催しました。

6月1日(火)に令和3年度第1回学校評議員会を開催しました。この学校評議員会は、地域に開かれた学校づくりの推進のため、年2回、評議員の皆様から岩沼小学校の教育活動についてご意見をいただき、岩沼小学校の学校運営に生かしていくことを目的としています。

第1回目は、評議員の皆様から、「授業に集中して取り組んでいる」「先生方の熱心さを感じる」「各教室にエアコン、体育館に換気装置といった施設が充実している」「タブレットを活用し、今後もICT教育の推進をお願いしたい」といったお話をいただきました。



<令和3年度の評議員の皆様をご紹介いたします>

(委員長) 小野 宏明 様 (副委員長) 大友 浩幸 様
大友 由喜 様 岡崎 文彦 様

オリンピック・パラリンピック聖火リレーの参加について<お知らせ>

6月21日(月)に東京オリンピック聖火リレーが千年希望の丘相の釜公園と二野倉公園～玉浦西楽々公園の2コースで行われます。市内各小・中学校の児童・生徒が応援をすることになり、本校では、6年生が岩沼市の手配したバスで会場に行き、応援いたします。通過予定時刻は、13:58～14:35です。



<お知らせ>

○今週から、水泳学習が始まります。感染症予防対策として、日常の健康観察を継続しながら、密にならないようにソーシャルディスタンスを保ちながら、学習を進めてまいります。なお、水泳学習は、1学期で終了する予定です。また、今年度も夏季休業中のプール開放はいたしませんので、ご了承ください。

<お願い>

○先日の大雨時の対応ありがとうございました。さて、お子さんを迎えに来る際は、近隣の方々にご迷惑をかけることのないようお願いいたします。迎えに来た車が駐車場の通路をふさぐ、車を探す子供が買い物に来た車と接触しうになり危険だったとの情報がありました。

岩小の「お宝」発見

大正12年と刻印された「鐘」が見つかりました。電動のチャイムが鳴らない時に使用していたとの話も…。

